

令和3年

第4回町議会定例会

行政報告

(令和3年12月14日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、12月1日から2日にかけての暴風に伴う停電と被害の状況について申し上げます。

(暴風に伴う停電と被害の状況について)

12月1日、日本海北部の低気圧が急速に発達しながらサハリン付近に進み、南にのびる前線が北海道を通過したため、十勝地方では南部を中心に1日夕方から西または南西の風が強まり、中札内村上札内で1日午後6時頃に36.2メートル、更別村では31.5メートルの最大瞬間風速を観測し、それぞれ観測史上最も強い暴風となりました。

この暴風の影響により、中札内村や更別村において短時間に多数の電柱の折損（せっそん）や高圧線の断線が生じ、11市町村で延べ1万2,700戸が停電となり、全面復旧まで約30時間を要する平成30年9月のブラックアウト以来の大規模な停電となりました。

本町におきましても、1日午後6時頃から弘和、駒島、栄など幕別地域南部や忠類地域の朝日、日和、元忠類など合計約310戸で停電が発生し、復旧の見通しが立たない状況でありましたことから、午後8時に札内コミュニティプラザ、忠類コミュニティセンター及び糠内コミュニティセンターに自主避難所を開設し、防災行政無線やLINEなどによる住民周知に加え、ホームページやSNSで暖房や携帯電話の充電が必要な方へ呼びかけを行ったところであります。

各自主避難所は、停電の復旧状況を見極めながら開放することとしておりましたが、2日の早朝に札内農村部の復旧を確認したことから、午前8時30分に札内コミュニティプラザを、続いて午後0時10分に忠類地域の復旧を確認し、0時30分に忠類コミュニティセンターを閉鎖したところであります。

また、栄の一部、美川の一部、明倫の一部地区につきましては復旧が遅れ、午後9時35分に復旧を確認したことから、9時40分に糠内コミュニティセンターを閉鎖したところであります。

自主避難所への避難にあたっては、平成30年のブラックアウトを経験したことが、停電対策など自助の備えに繋がっていると思われ、いずれの自主避難所においても避難された方はおりませんでした。

次に、公共施設の被害状況についてであります。忠類町民プールの西側のモルタル外壁約130平方メートルが強風により倒壊したほか、アルコ236の温泉棟西側の外壁上部のトタンの一部が強風により剥がされる被害がありましたが、いずれの施設も応急措置を終え、速やかな復旧に向け準備を進めているところであります。

また、上忠類近隣センター及び西当近隣センター敷地内の樹木併せて15本が敷地内外に倒れましたが、4日までに全ての倒木の撤去作業を終えたところであります。

次に、農林業の被害状況についてであります。営農施設につきましては、D型ハウス5棟、牛舎13棟、格納庫16棟のシャッターや屋根が破損したほか、ビニールハウス9棟が強風により破損しており、合計で33戸、43件の被害があったところであります。

また、この強風により酪農家7戸が停電の影響を受けましたが、自家発電機を使用し搾乳を行ったことから、生乳廃棄等の被害は発生しなかったとの報告を受けております。

これら農業被害につきましては、その実態を把握し、支援策について各農協と協議を重ねてきたところであります。本町におきましては、幸いにして、来年の営農に支障をきたすような大きな被害は発生しておらず、また、被災した営農施設のほとんどが園芸施設共済や建物共済等に参加しておりますことから、これらの対象とならない営農施設の復旧支援策として、幕別町農業ゆとりみらい総合資金貸付金に無利子の特例融資を設け、本日所要の補正予算を提案させていただいたところであります。

また、林業被害につきましては、忠類地域の町有林内で12本の倒木被害がありましたが、既に撤去を終えているところであります。

次に、道路の被害状況についてであります。町道西当北4線のほか6路線11か所で倒木の発生があり、この内、西当北4線及び西当北5線では道路の全幅員を遮る

複数本の防風林の倒木により、約1.5キロメートルの区間において通行止めとしましたが、2日の午前10時頃には全ての撤去作業を終え、通行止めを解除したところ
であります。

以上、暴風に伴う停電と被害の状況につきましてのご報告とさせていただきます。